

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	22224002	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	秒角撮像遠赤外線干渉計による星形成領域核心部の観測	研究代表者 (所属・職)	芝井 広 (大阪大学・理学研究科・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
○	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は、自ら開発した遠赤外線干渉計 FITE を用いて、毎年一回の気球フライトによる星形成領域の観測により、高解像度の遠赤外線観測を目指した興味深いテーマであるが、これまで一度もフライトに成功しておらず、当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である。

原因としては、観測装置のトラブルとその原因究明に多くの時間を要したこと、フライトを予定していた場所を変更せざるを得なかったこと、安全基準上、装置改造が必要になったことがある。そのため、FITE に基づく科学的発表成果は未だ得られていない。一方、検出器の性能向上など限られたフライト時間で観測効率を上げる努力は行われている。

今後は、平成26年度に予定されている唯一のフライトの機会を成功させ、当初目標の約1秒角解像度の遠赤外線観測を初めて実現し、科学的成果を上げることを大いに期待する。